



3月の園だより

令和6年3月1日
学校法人志賀学園
松の実こども園

暖かく柔かい日ざしが差し込むようになり、ガーデニングクラブのお母様が植えてくださったロータリーやプランターの草花が色鮮やかに咲き始めました。

早いもので、今年度も残りわずかとなりました。3月中旬から、園庭の砂場周辺に1週間ほど植栽工事が入る予定です。この事業は、第一生命財団様による「緑の環境プラン大賞」として公募があり、松の実こども園で応募したところ選考していただきました。そこで、12月11日・東京の明治記念館にて、みどり豊かなまちづくりを進める取り組みを表彰する「みどりの『わ』交流のつどい」という式典がありました。表彰式で佳子内親王殿下から、「みどりは、私たちに潤いや安らぎ、季節の移ろいを感じさせてくれます。また、気候変動やヒートアイランド現象を緩和し、多様な生き物を育み、防災にも大切な役割を果たしています。」とお言葉が述べられました。春には四つ葉のクローバーが茂り草花あそびや虫探しを楽しんだり、作物を育て収穫活動をしたり、数年後には緑豊かな木々が育ってくると思います。築山の井戸から池までの水の流れを楽しむ活動も充実し、子どもたちの感性も益々豊かに育まれていくことを願っております。式典・表彰式の様子は、都市緑化機構 HP (<https://urbangreen.or.jp/info-grant/3hyosho/midorinowa6-koryunotsudo-hokoku>) 又は、「佳子さま・みどりの『わ』交流のつどい」にて検索していただき、本事業の趣旨を理解しながらご覧いただけたらと思います。

さて、先日の一年間の総まとめの行事、わくわくキッズコンサートでは、大きなお口で歌をうたったり、お友だちと心を合わせて楽器の演奏を楽しむ様子をご覧いただき、日頃の音楽活動の成果や、お子様の成長を感じられたことと思います。

3月3日は「ひな祭り」です。ひな祭りは女の子の成長を祝う行事で、桃の花が咲く頃に行われるので「桃の節句」とも言われています。お内裏様・お雛様・三人官女・五人囃子など人形や物の名前を知ることによって日本の伝統行事に親しむことができます。こども園では、3月1日にひな祭り会とさくら組で恒例の桜餅作りを行います。当日は、ひなあられを持ち帰りますので、ご家庭でお召し上がりください。

また、3月20日は「春分の日」です。春分の日とは、昼と夜の長さがほぼ同じになり、その前後7日間を「春の彼岸」といいます。「彼岸」とは仏教のことばで「この世を離れて仏の世界に行く」という意味で、太陽が真西にせずむ春分（秋分）の時期は、亡くなった先祖を偲び、感謝の思いを奉げるのに最も良い時とされ、お墓参りをするることになっています。

今年度は、コロナ感染症も5類になり、これまでのマスク生活などで免疫力が低下した中で、いろいろな感染症も流行しました。保護者の皆様には、何かと温かいご理解とご協力をいただきながら保育や行事を進めることができました。一年間、本当にありがとうございました。